

令和8年度第1回早池峰地域移入植物駆除に参加しました

令和8年6月10日（水）に行われた早池峰地域移入植物駆除に支署職員5名が参加しました。

移入植物は、車両の往来などにより他の地域から持ち込まれた植物のことで、在来植物との競争など生態系にさまざまな影響を及ぼすことがあり、早池峰地域ではセイウタンポポやオオバコを移入植物として駆除の対象としています。

関係機関、団体、ボランティアの総勢38名が、河原の坊総合休憩所周辺から小田越登山口の約1kmの県道25号紫波江繋線に沿って駆除活動を行いました。

県南広域振興局保健福祉環境部職員の作業説明後に河原の坊駐車場付近、県道沿い、小田越登山口に分かれ駆除活動を開始しました。駆除は、根を残さないよう草取り鎌を使って作業します。

9時30分から1時間30分駆除を行ない、しゃがんでの姿勢は腰が辛く立ったりしゃがんだりを繰り返し、ゴミ袋いっぱいに取り除いたオオバコなどを取りました。

今年度の回収量は12.8kgでした。ちなみに令和7年度は、33人参加、10.7kg、令和6年度は、29人参加、約8.8kgの回収量です。



（オオバコ）



（袋いっぱいに取りました）